

教科	公民	科目	公共	単位数	2	年次	I 年次
使用教科書	詳述公共（実教出版）						
副教材等	最新公共資料集（第一学習社）						

1. 担当者から生徒へのメッセージ

公共で学ぶ政治や経済の問題からはどんな道に進もうとも逃れることができません。たとえ何の関心のない人であっても、法律の下にある限り政治とは無関係でいられず、お金を使って生活する限り経済とは無関係ではられません。この授業を通じて、政治や経済の問題について、自分なりの考え方ができるようになってほしいと思っています。

2. 学習の到達目標

- ・自由や正義など現代社会を支える理念を理解し、主権者としてそれらの概念に基づき様々な課題を合理的に分析することができるようになる。
- ・現代社会の諸課題について、政治や経済についての正確な理解に基づいて考察し、自分なりの考えを持てるようになる。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	政治と経済について正しい知識を身につけており、適切にその知識を用いることができる。	資料を正しく読み取り、その内容を他者に理解できるように説明できる	自らの問題意識に基づき、実生活で起こる問題に対し、考察を深められる。
評 価 方 法	期末考査をもとに評価する。	レポートや発表をもとに評価する。	授業の振り返りを含む感想文をもとに評価する。

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	・ 公共の扉 エリクソンのライフサイクル論…高校生活で達成すべき課題 自由、権利と責任、義務…功利主義に基づく諸概念 ・ 民主国家における基本原理 社会契約説と自由の概念…政治的自由と経済的自由とは何か。 ・ 現代の経済社会 需要供給の理論、政府や金融機関の役割、経済成長と景気の変動など、経済を理解するための枠組みについて。 ・ 経済活動のあり方と国民福祉 学んだ枠組みを通じて、現代の経済的な問題について考察する。
2 学期	・ 日本国憲法の基本的な性格 憲法の存在意義と日本国憲法の理念 基本的人権、特に自由権と社会権のあり方 ・ 日本の政治機構と政治参加 政治のあり方、国会、内閣、裁判所 ・ 模擬裁判 模擬裁判を通じて合理的な思考力、判断力を身につける。
3 学期	・ 国際政治の動向と課題 国際連合の役割と集団安全保障体制 ・ 国際経済の動向と課題 自由貿易と保護貿易、グローバル化がもたらす諸問題

5. 科学のもり (SSH プログラム) との関連

- ☒ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
 - ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
 - ☐ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
 - ☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
 - ☐ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
 - ☐ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	公民	科目	倫理	単位数	2	年次	3年次
使用教科書	高等学校 新倫理（清水書院）						
副教材等	最新版 倫理資料集 ソフィエ～智を学び夢を育む～（清水書院）						

1. 担当者から生徒へのメッセージ

哲学者のカントは「哲学を学ぶことはできない、学ぶことができるのは『哲学すること』だけだ」と言っています。倫理という科目で重要なのは、「正義とは〇〇だ」という哲学を学ぶことではなく、「なぜ正義とは〇〇なのか」と自分で考える－哲学する－ことです。安易に答えを求めるのではなく、考え続けることの大切さ、面白さがわかってもらえたら嬉しいです。

2. 学習の到達目標

- ・疑うことなく受け入れている価値観の根拠を問い、論理的に説明できるようになる。
- ・実生活の中で直面する種々の問題に対し、古代から現代に至る様々な思想を用いて、思索できるようになる。
- ・現代の諸課題に対して、自分なりの考えを持ち、他者に伝えられるようになる。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	思想家と思想について正しい知識を身につけており、適切にその知識を用いることができる。	資料を正しく読解し、その内容を他者に理解できるように説明できる。	自らの問題意識に基づき、実生活で起こる問題に対して、思索を深められる。
評 価 方 法	期末考査をもとに評価する。	資料の読解についてのレポートや発表をもとに評価する。	授業の振り返りを含む感想文をもとに評価する。

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	・ 自己と心をめぐる問題 「自分」とはどのような存在か、「心」はどのように発達するのか、など心理学の視点から考察する。 ・ 思想の源流 古代ギリシャ哲学、キリスト教、イスラーム、仏教、諸子百家の思想など、古代から中世にかけて生まれ、現代に生きる人々の土台となった思想について学ぶ。
2 学期	・ 日本の思想 日本古来の宗教観、日本における仏教、儒教の発展、西洋文化の受容など、現代の日本にもつながる価値観が形成される過程を学ぶ。 ・ 西洋近現代思想 人はどのように生きるべきか、社会はどのようにあるべきか、科学はなぜ正しいのか、など種々の問題を、ヨーロッパを中心とする哲学者の思想を学びながら考察する。
3 学期	・ 現代の諸課題 生命倫理や環境倫理など、これまで学んできたことを応用して、現代の諸課題に取り組む。

5. 科学のもり (SSH プログラム) との関連

- ☒ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☐ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☐ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☐ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成